

函館工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語特講A	
科目基礎情報							
科目番号	0118		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	社会基盤工学科		対象学年		4		
開設期	2nd-Q		週時間数		2		
教科書/教材	TOEIC L&R TESTパート5 特急4 2 0 問ドリル 朝日新聞出版 (必須) TOEIC公式問題集8&9 (希望者購入)						
担当教員	高橋 真規子						
到達目標							
1. To get TOEIC score over 500 2. To be able to solve questions of TOEIC 500 level questions 1. TOEICテスト500点レベル以上の語彙を身につけることができる。 2. TOEICテスト500点レベルの問題を解くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	To be able to get TOEIC TOTAL score over 500		To be able to get TOEIC TOTAL score over 400		Can't get TOEIC Total score over 400		
評価項目2	To be able to get TOEIC Listening score over 280		To be able to get TOEIC Listening score over 200		Can't get TOEIC Listening score over 200		
評価項目3	To be able to get TOEIC Reading score over 220		To be able to get TOEIC Reading score over 200		Can't get TOEIC Reading score over180点		
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 E							
教育方法等							
概要	国際社会で活躍する技術者として必要な英語のコミュニケーション力を身につけることを目的とし、TOEICテスト500点レベル以上を獲得できるようにする。そのため、すでに400点レベルの語彙・熟語や文法項目を既に身につけているという前提で授業を進めていく。授業は、TOEICの点数獲得に必須な文法セクションのPART 5のドリルと、TOEIC公式問題集を使ってリスニングのPART 4、リーディングのPart 7を演習しながら語彙増強を図る。 ※テキスト：TOEIC L&R TESTパート5 特急4 2 0 問ドリル 朝日新聞出版 (必須) TOEIC公式問題集 8 & 9 (希望者購入)						
授業の進め方・方法	・クォーター科目のため、授業は週90分を7回で実施する。 徹底したTOEIC問題演習を通して、自分の目標とするTOEIC点数の力を身につける。(最低5 0 0 点レベル) テキストのPart 5の問題については自習課題とし、授業時に確認テストを毎回実施し6 0 %以上の正答率で課題点獲得とする。また、授業時は主に公式問題集などから選抜したPART 4、PART7の演習を行う。						
注意点	毎週、一定時間、英語の学習時間を自学自習で実施する必要がある。テキスト(パート5 特急)の問題は毎週かならず自学自習して授業に臨むことが求められるので、自学自習の習慣がない者は更に苦痛が加わり他の科目に影響が出る可能性がある。授業では毎回 パート5 特急のテキストから自習確認テストが実施され、それが成績の20%となる						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	2ndQ	9週	授業の進め方解説 Part5特急 Set1 Set2		授業の概説・取り組み方の説明とPart5特急の問題を解いてみる		
		10週	Part5特急 Set3 Set4 公式問題集9 SET1 PART 4 (2)		自学自習したPart5特急Set 3, 4の問題の理解度を確認する 公式問題集で演習した問題を理解して解けるようになる。		
		11週	Part5特急 Set5 Set6 公式問題集9 SET1 PART 4 (2)		自学自習したPart5特急set 5, 6の問題の理解度を確認する 公式問題集 8 set1で演習した問題を理解して解けるようになる。		
		12週	Part5特急 Set Set8 公式問題集9 SET 2 PART 4 (1)		自学自習したPart5特急set 7, 8の問題の理解度を確認する 公式問題集 8 set2で演習した問題を理解して解けるようになる。		
		13週	Part5特急 Set9 Set10 公式問題集9 SET 2 PART 4 (2)		自学自習したPart5特急set 9. 1 0の問題の理解度を確認する 公式問題集 8 set2で演習した問題を理解して解けるようになる。		
		14週	Part5特急 Set11 Set12 公式問題集9 SET1 Part 7 (1)		自学自習したPart5特急set 1 1, 1 2の問題の理解度を確認する 公式問題集9set1で演習した問題を理解して解けるようになる。		
		15週	Part5特急 Set13 Set14 公式問題集9 SET1 Part 7 (2)		自学自習したPart5特急set 1 3, 1 4の問題の理解度を確認する 公式問題集9set1で演習した問題を理解して解けるようになる。		
		16週	公式問題集 9 ReadingPart 5, 6 模試		公式問題集9 set2でPart 5, 6の模擬試験をしてみる		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	試験（Part5特急テスト）	発表	課題（復習確認テスト）・ 学習態度	合計
総合評価割合	80	0	20	100
基礎的能力	80	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0